

平成25年度 市議会議員さんとのギャギャ会(下牧・牧谷保育園)

1 日時：平成25年7月25日（火）午後7時30分～9時10分

場所：下牧保育園 遊戯室

2 出席者（29名）

◆ 下牧・牧谷保育園保護者 16名（男性：1名、女性：15名）

保護者会連合会役員（3名）

◆ 美濃市議会議員（5名）

民生教育委員：岩原、辻、塚田、佐藤、森

◆ 下牧・牧谷保育園（4名）

野倉下牧保育園園長、野村下牧保育園主任、

佐藤牧谷保育園園長、後藤牧谷保育園主任

◆ 市事務局（1名）

猿渡

3 意見等

◆ 美濃市のいいところ

- ・うだつの町並みや自然がたくさんあるところ。
- ・各務原市から美濃市へ帰ってきて感じることは、水・空気・自然がきれいで息をした時の心地よさ。人がいっぱいだと不安があった。便利良さや都市をまねるのではなくいいところがいっぱいあるところを大事にしてほしい。
- ・いろんな行事があり、まつりなど団結力があるというように楽しく参加できる。
- ・都会では線引きがしっかりしているが、田舎なのでサービスなど手厚く感じる。美濃市ならでのいいところがあるのでいい。
- ・人が温かいいいなと感じる。近所のおばさんが自分の子どもをかわいがってくれて、小さなときだけでなく卒業した子たちにも気にかけてくれる。
- ・自然が豊かで四季が楽しめる。春はさくら、夏は水遊び、秋はもみじ、冬には鎌倉遊びまでできる。
- ・小倉公園へは子どもができてから行くようになり、無料で動物がいて近場で本当にいい。

- はスギであり、市からの助成で今年度は清泰が改修、美濃、松美、牧谷等整備された。
- ・人を招集する必要があるときに、お母さん方に声をかければほぼ出て来てもらえる。一つの家におじいちゃんおばあちゃんがいて一緒にいられるのはいいこと。
 - ・特にここがいいと思いつかない。他に見劣りがある訳ではなく、普通であるということにがむしろいい。
 - ・子どもが少なく、保健センターへ行ってもすぐに名前を覚えてもらえ、温かく接していただく。始業式、終業式にお昼（給食）を作ってもらうなど他ではない。
 - ・伝統的美濃和紙、みのまつり、うだつの町並みは最近おしゃれになっている。あかりアートでは、ボランティアの参加や若い人の楽しめるお笑いライブなど最近話題が多くなってきた。
 - ・自然と少人数であるところがいい。みんながニコニコいきいきしている。小学校も少人数で学年問わずみんなの顔が覚えられるところがいい。
 - ・自然が多く、のびのびできる。地域の方々があたたかく見守ってくれる。
 - ・美濃に来て永くないが、自然と人があったか。どこの保育園も行きやすい。児童館がちょっと充実していない。その分保育園が充実している。たんぼ学級、調理実習などの行事イベントなどに参加しやすい。
 - ・自転車の利用者も多く見かけるようになってきた。そういう人たちも楽しめる。
 - ・子育て世代にとっても優しい町じゃないかと思う。お母さん方のことを考えていろんなイベントなどをやっていたいている。
 - ・「こんなすばらしいところはない」四季を感じられる。上牧では堤防のサクラ、夏はきれいな川での水遊び、秋の夜の虫の声、冬の雪などもっとPRしていかなくてはと感じる。
 - ・医療費が無料。病院の費用が全部いらないというあたりまえに思っているところが手厚い支援をいただいているところ。
 - ・空・雪・山がきれい。心の栄養を本当に貰っている。子どもたちが伸び伸びと育つ。素直で明るく育っているのは、自然のパワーを貰っているということ。

◆ 議員さんから

- ・住みやすい、自然が豊か。ゆっくりゆったり自転車でのスローライフ。大きい市ではできないこと。小さい市だからこそできる独自の施策が展開できる。福祉を含めた総合的な施策を作ろうと取り組む。

が整備され、池尻笠神工業団地も計画されている。また、旧美濃病院の跡地に複合的な施設が検討されている。

- ・3人の子育て経験をしている。美濃市ならではの思いを話していただくことで双方向の（仮称）市民ふれあいセンターを市民公募の中で検討されているので注目してほしい。こんなふうにしたらという意見を出していただきたい。
- ・地域をまたがった懇談会で（仮称）市民ふれあいセンターに対する意見をどんどん出していきたいと思う。
- ・道普請等で市民皆さんの取り組みで進めてきた。少しでも皆さんのお力添えになるよう頑張ってきた。

◆ 要望等

- ・長瀬の川で遊ぶ人たちのマナーが悪い。トイレがあるのに外でし、家庭の庭に入っていくのが当たり前になっている。ゴミの問題を含め警察、消防の方々も苦勞されている。外国人が多く、身の危険も感じている。地元ではあそこには行かない。行けない。
- ・「子ども・子育て会議」同じ保育ができるか注目する必要がある。
- ・ヒストリーについて三ツ星ジョージの入場券がプレゼントされたり、自分色のカルタを作って美濃市にまつわるクイズを作ったカルタづくりはとても勉強になる。
- ・和紙の里公園の一角にでも遊具があるともう少し子どもが遊べる。スポーツに来てもっと環境もいいところになるといい。公園というイメージは子どもも遊べる。広いところで精いっぱい遊べるといい。また、小さい子どもを連れていける場所もあるといい。
- ・大矢田からの道路を早くトンネル等整備してほしい。
- ・県道美濃洞戸線の安毛の道路拡幅ができないものか。かつて高校通学生の自転車の事故もあり、サイクルシティ構想を掲げているので対応していただきたい。